



心と体が飛躍する今を大事に

～運動会を終えた後に見える子どもの成長～



10月にドリーム運動会を無事終えることができ、たくさんのご声援ありがとうございました。

日頃の遊びの延長線上にある運動会 周りにある自然や園庭での足腰をつかった遊び、アップダウンのある散歩道、鬼ごっこなど友だちと思いつき走りあう中で身体も心も少しずつ成長してきている子どもたち。いつもと違う場に緊張してしまう子、あともう少しでできそうだったことが運動会という特別な場で発揮できた子、年齢が1つずつ上がるにつれて、やってみようと友だちと力を合わせて走ろうとする姿、日々培われた運動能力や、内面の育ち、さまざまな姿が見られた運動会でした(*^_^*)

運動会を終えても・・・ 園庭では「かけっこごっこやろうか！」と声があがると、うさぎ組やりす組さんまで「やりたい!!」と来て、上の子に名前を呼んでもらい張り切って「は～い!!」と返事をして「よ～い、どん!!」のかけ声で思い切り走っています。

また、ウッドデッキの竹登り棒やうんていに登ったり、渡ったりしよう!と、挑戦する子どもたちが増えてきています。お迎えの時に父さんお母さんと一緒に挑戦している子どもたちもいます。

子どもたちの心と体が飛躍する時

日ごろの遊びの姿からその運動機能にあった内容を年齢ごとに取り入れて運動会ごととして、何回か遊んだりする中で、自分の目標をもったり、ドキドキする気持ちと葛藤しながらやってみたり。リレーでは、友達と応援し合ったりして運動会をやり遂げてきた子どもたちは、運動会の後も新たに「うんてい渡ってみたい!!」「リズムでピーンと手を伸ばして走りたい!!」など、自分の中に『こうなりたい!!』という気持ちと意欲をもって遊ぶ姿が出てきていて、運動会をきっかけにまたぐんと成長する姿が今垣間見えます。子どもたちのもつ力に驚かされると共に、その瞬間に立ち会える私たち大人はその姿を見届け、励まし、共に喜び合う仲間でありたいと思います。



歌を届けよう

～保護者の方のことばより～



新入園児さんのお母さんへ慣らし保育の時に、生まれて間もない赤ちゃんは右脳(感性・感覚機敏、感受性)から発達していくので、乳児の頃からリズムやメロディのある歌がとても子どもたちに心地よく入っていくということをお話し、ドリームでは「歌を大事にしている」ということを伝えました。そして、ドリームでは歌を歌いながら、ふれあいあそびをしたり、眠るときに子守歌を歌っている、ということに驚かれて、わが子に絵本は読んできたけれど、歌は歌ってこなかったから、これからは歌ってあげたいと思うと言ってくださり、お家ですぐに歌でふれあいあそびをやってくださっているようです。



～右脳から発達する乳児さん～ 感性、感覚が先に育つ

歌が始まると子どもはじっと見えています。0歳は言葉より歌が届きます。何でも良いわけではなく、実物があるものの歌が良いです。言葉と心の世界が広がっていきます。0歳児は日本語が分からないのになぜ歌が好きなのか。それはお腹の中で右脳を育てて生まれてくるからです。

～リズムあそび講師 永谷郁夫さんの言葉より～



身体の脱力がうつぶせ寝を回避する

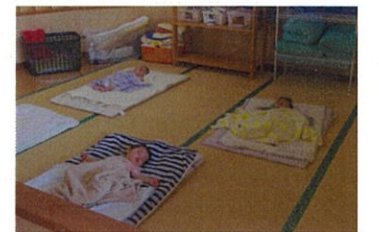
目と目を合わせた「まなかい」の抱っこで、優しく身体をゆすることで、身体が脱力していき、脱力したままぐっすりと眠ることができます。ドリームでは、子どもたちの身体をみて、身体の緊張をほぐし、一日を心地よく過ごせるようにロールマットや、金魚による身体ほぐし、「まなかい」の抱っこを大事に保育をしています。

腰や、背中が硬かったり、凝ったりしていると、うつぶせで寝るほうが眠りやすいようで、うつぶせになってしまう子どもさんがいます。そこで、「まなかい」の抱っこやロールマットで身体が脱力していくと、腰や背中の凝りが解消され、必然的に仰向けで眠れていきます。



～新入園児さんのお母さんより～

「うつぶせ寝が多かったのですが、仰向けで眠れるようになりました。お姉ちゃんも『ゆらゆらして～』と、眠る時に手を添えてゆらゆらするのが気持ちいいようです。」とお話をいただきました(*^_^*)



保護者の方のお声より ～園と家庭とが共に取り組むことの大切さ～



園の生活では、お話を聞くときやリズムあそびの時に、正座をしますが、身体の全身が硬く、股関節の可動域もあまりない子が、正座ができずにいました。園では、足首をクリクリとマッサージをしたり、お昼寝の時に全身がほぐれるように「ゆらゆら」と金魚を続けてきました。すると・・・ある日。リズムあそびの時に正座をして座っていました!!びっくりして「せいざ出来るようになったんだね!」と声をかけると、この子も嬉しそうに「出来るようになったんだよ!!」と生き生きと正座を見せてくれました。

その様子を保護者にお伝えすると、「家でも、足首や身体のマッサージをしています!」と嬉しいお返事をいただきました。園と家庭と一緒に取り組んでいくことで、子どもの変化がみれたうれしい出来事でした。

“金魚”で身体・心も緊張をほぐして



～ご家庭でもどうですか?～

大人の膝の上に仰向けに子どもをのせてする「金魚」は、子ども達は安心して身をゆだねます。膝の上で、身体のおへその辺りに両手を揃えておいてあげ、脱力した身体を自然に揺らしてあげることが緊張した身体をほぐすこととなります。子どもたちの気持ちよさそうな表情を見ながら、ご家庭でもホッとするひと時を過ごしてみてください。

